

3類型	鋳工業品	通巻番号	7-22-007
地域資源名	紙製品	認定日	平成23年2月2日
地域	香川県観音寺市	所管省庁	経済産業省

事業名：紙への高圧プレスによるエンボス加工技術を活用した擬革紙商品群の開発・製造・販売

会社名：有限会社篠原紙器工業所
 連絡先：TEL：0875-25-2697
 FAX：0875-25-4065

所在地：香川県観音寺市栄町二丁目4番15号
 HP：<http://mybox.sp.land.to/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・観音寺市は紙産業の町である愛媛県四国中央市の隣に位置しており、四国中央市の有力な紙製品製造業者の本社や工場を構えているところもある。
- ・香川県産業技術センターより大きな凹凸によるエンボス模様が特徴である金唐革紙(香川県出身の平賀源内が江戸時代に作ったとされる擬革紙※)を紹介してもらった。そこで、当社の技術、設備を活用して装飾性の高い擬革紙を製造すれば、安価な製造が出来、幅広い層での需要が見込めると判断し、また競合もないと考えられる分野で商品の高付加価値化を実現し、ひいては自社ブランドの確立を考え、本事業の開発に着手した。
 ※擬革紙：強靱な和紙またはクラフト紙に塗料を施して乾かし、型付けなどの加工をして、皮革に似せたもの。書籍表紙・家具調度品などに用いる。革紙。レザー・ペーパー。
- ・紙への高圧プレスによるエンボス加工の技術を活用した工業品レベルのコストで製造できる装飾性の高い擬革紙を使用した商品群の開発・製造を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

- ◆競争力
 - ・紙に施した立体的で多彩なデザインにより、高級感を有しながら、皮革製品に比べて軽量かつ低価格におさえることができる点で差別化する。
- ◆市場性
 - ・貼箱市場は463億円(2008年)の市場規模がある。また、雑貨・インテリア商品群について、ギフト雑貨市場規模は10.9兆円(2006年)であり、「ギフト」という視点において、巨大マーケットが存在している。
- ◆販路
 - ・博物館などのおみやげ品、ハレの日や記念日等に使用されるギフト品、インターネットでの直販や展示会などを通じて、おしゃれな旅行用小物や雑貨・インテリア商品として販路開拓を行う。



地域資源における関係事業者との連携

- ・香川県産業技術センターから擬革紙の開発指導、四国職業能力訓練大学校から製造技術の協力、平賀源内先生顕彰会から源内ブランド商品群の販売の協力、発明協会香川県支部から知的財産権の取扱いについての指導を受ける。